

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

第2回 権利擁護部会

開催日時

平成30年6月26日(火)10:00~11:30

参加者所属機関名等

中野市福祉課・中野市社協・飯山市保健福祉課・飯山市包括・飯山市社協・山ノ内町健康福祉課・山ノ内町包括・山ノ内町社協・木島平村民生課・木島平村社協・野沢温泉村包括・野沢温泉村社協・栄村健康支援課・栄村包括・栄村社協・ひまわり長野・リーガルサポートながの・北信圏域権利擁護センター・のぞみの郷高社・サービスセンターりんく・北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

①第1回自立支援協議会の報告 ②県権利擁護部会の報告 ③各PJに分かれて検討 ④全体共有

会議で話し合われた事

①第1回自立支援協議会の報告

- ・5/23に第1回自立支援協議会が開催された。その中で、障害者差別解消支援地域協議会の設置にむけて、市町村課題検討WGの代表者より、検討経過や今後の方向性が報告された。11月開催予定の第2回自立支援協議会で設置について諮る予定。引き続き、権利擁護部会でも詳細を検討していく。県内では5つの地域で設置済み。
- ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画が今年度よりスタート。権利擁護部会の活動も福祉計画の推進の一部を担っており、地域づくりとなっている。

②長野県権利擁護部会の報告

- ・各圏域では、年4~5回の部会を開催しており、事例検討をしている所が多い。その他、差別解消法の学習、地域に向けた研修会、障害者虐待防止の研修・事案の共有等行われている。北信圏域の権利擁護部会の特徴はPJに分かれた取り組みがある事。
- ・長野県権利擁護・虐待防止研修会については、長野会場は10月開催予定となっている。
- ・北信圏域内で差別案件や虐待案件がH29年度にどれくらいあったか、把握できるようにしたい。
- ・県は、外見で障害や病気がわかりづらい人も助けを求めやすくなるように、「ヘルプマーク」を導入し、7/2~配布する。配布場所は、市町村役場や県保健福祉事務所等。「ヘルプマーク」の他、「ヘルプカード」は県のホームページよりダウンロードして使用することが可能。

③各PJに分かれて検討

④全体共有(各PJより)

○啓発・研修PJ

- ・PJリーダーの山ノ内町包括 竹節さんが、7/1に異動することに。そのため、PJ内で検討し、今後はサブリーダーの常岩の里ながみね 丸山さんにリーダーをお願いする。
- ・5/9にPJで集まり、研修会の内容について検討。それをもって、6/4に長野家庭裁判所に講師をお願いできるか相談に伺った。現在返事待ちのため、断られた場合も考え、研修会のB案を検討した。

○地域連携PJ

- ・各市町村の実情・課題を出し合った。成年後見制度利用促進の中核機関についても、どこまで各市町村でできるのか、把握して整理してから検討していきたい。

○差別解消支援地域協議会検討PJ

- ・実務者会議を権利擁護部会内に置き、現在の差別解消支援地域協議会検討PJを実務者会議の中心にする方向で検討。責任ある立場として、圏域内の市町村福祉課長1~2名にも加わって欲しいと考えている。
- ・次回までに地域協議会設置要綱(案)をまとめたい。